



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月14日
上場取引所 東

上場会社名 ラサ工業株式会社
 コード番号 4022 URL <https://www.rasa.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 坂尾 耕作
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役常務経理部長 (氏名) 望月 哲夫 TEL 03-3258-1835
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	25,205	56.4	2,626	73.2	2,750	77.5	1,831	70.1
2022年3月期第2四半期	16,110	13.0	1,516	31.8	1,549	36.9	1,076	23.0

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 2,430百万円 (80.6%) 2022年3月期第2四半期 1,345百万円 (44.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	231.31	—
2022年3月期第2四半期	135.80	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	46,530	22,138	47.3
2022年3月期	41,924	20,301	48.2

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 22,015百万円 2022年3月期 20,206百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	—	—	70.00	70.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	70.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	52,600	48.5	4,500	29.5	4,600	29.1	3,200	26.0	404.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期2Q	7,944,203株	2022年3月期	7,944,203株
2023年3月期2Q	30,789株	2022年3月期	10,409株
2023年3月期2Q	7,915,911株	2022年3月期2Q	7,927,687株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和されて、経済活動を維持する対策により、景気に持ち直しの動きがみられる一方、世界的なインフレの進行、急速な円安進行、長期化するウクライナ情勢などもあり、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような環境のなかで、中期経営計画2023の2年目を迎え、引き続き「次世代への変化に対応した事業戦略の推進と将来に向けた事業基盤の更なる強化」を基本方針として、既存事業の強化・領域拡大やグローバル市場への対応強化、新規事業の探索・育成などの事業戦略を推進していくとともに、これら事業戦略を支える基盤整備として、DXやESGの取り組み、人材戦略にも注力し、収益力の向上や持続的成長に向けた新規事業の育成などの経営課題の解決に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間は、売上高252億5百万円（前年同期比56.4%増）、営業利益26億26百万円（前年同期比73.2%増）、経常利益27億50百万円（前年同期比77.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は18億31百万円（前年同期比70.1%増）となりました。

当社グループのセグメント別の概況は、次のとおりであります。

①化成品事業

燐酸などの燐系製品につきましては、半導体向け高純度品が国内外共に堅調に推移しました。また、前期後半ごろから続く原料黄燐の高騰による製品価格の是正も加わり、大幅な増収となりました。

凝集剤関連製品につきましては、電子部品のエッチング用途向けが、好調に推移し増収となりました。

コンデンサー向け原料は、原料価格の上昇に伴う製品価格への転嫁により、増収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、214億10百万円（前年同期比79.9%増）、セグメント利益は、24億12百万円（前年同期比81.5%増）となりました。

②機械事業

破砕関連機械につきましては、リサイクル向けプラントの販売が伸長した一方、消耗部品販売が低調に推移し、前年並みとなりました。

下水道関連の掘進機につきましては、国内及び海外向けの本体販売が減収となりました。レンタル物件は低調に推移し、精密機械加工は前年並みとなりました。

この結果、当セグメントの売上高は、22億60百万円（前年同期比15.4%減）、セグメント利益は、1億92百万円（前年同期比13.7%減）となりました。

③電子材料事業

化合物半導体向け高純度無機素材につきましては、赤燐は事故の影響により減収となりましたが、ガリウム、インジウム及び塗布剤は好調に推移しました。

この結果、当セグメントの売上高は、9億5百万円（前年同期比2.6%減）、セグメント利益は、2億49百万円（前年同期比116.2%増）となりました。

④その他

石油精製用触媒の再生事業は、前年並みに推移しました。不動産の賃貸につきましても、横ばいとなりました。

この結果、当セグメントの売上高は、6億28百万円（前年同期比3.5%増）、セグメント利益は、3億50百万円（前年同期比6.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産につきましては、流動資産が前連結会計年度末に比べて43億33百万円増加し、239億17百万円となりました。この主な内訳は、受取手形及び売掛金が23億19百万円増加、棚卸資産が19億48百万円増加したことなどによるものであります。固定資産は前連結会計年度末に比べて2億72百万円増加し、226億12百万円となりました。この主な内訳は、有形固定資産が2億49百万円増加したことなどによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における負債につきましては、前連結会計年度末に比べて27億68百万円増加し243億91百万円となりました。この主な内訳は、短期借入金が26億53百万円増加し、支払手形及び買掛金が8億76百万円増加した一方、長期借入金が9億91百万円減少したことなどによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産につきましては、親会社株主に帰属する四半期純利益を18億31百万円計上、為替換算調整勘定が5億47百万円増加した一方、剰余金の配当により5億55百万円減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ18億36百万円増加し221億38百万円となりました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における資産合計は465億30百万円となり、自己資本比率は47.3%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ69百万円減少し、34億69百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は68百万円となりました。主な内訳は、税金等調整前四半期純利益27億20百万円、減価償却費9億15百万円、売上債権の増加21億15百万円、棚卸資産の増加17億17百万円、仕入債務の増加8億27百万円、法人税等の支払額6億61百万円などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は8億15百万円となりました。主な内訳は、有形固定資産の取得による支出7億89百万円などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は6億20百万円となりました。主な内訳は、短期借入金の増加額31億55百万円、長期借入金の返済による支出19億10百万円、配当金の支払額5億51百万円などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年8月10日公表の業績予想数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,538	3,469
受取手形及び売掛金	10,378	12,697
商品及び製品	2,581	3,390
仕掛品	976	1,054
原材料及び貯蔵品	1,780	2,841
その他	332	467
貸倒引当金	△2	△3
流動資産合計	19,584	23,917
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,832	4,430
機械装置及び運搬具(純額)	3,828	5,358
工具、器具及び備品(純額)	545	914
土地	6,908	6,909
建設仮勘定	3,349	1,106
その他(純額)	102	96
有形固定資産合計	18,566	18,816
無形固定資産	47	42
投資その他の資産		
投資有価証券	2,195	2,347
その他	1,544	1,413
貸倒引当金	△14	△7
投資その他の資産合計	3,725	3,753
固定資産合計	22,339	22,612
資産合計	41,924	46,530

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,264	5,141
短期借入金	5,806	8,460
未払法人税等	712	817
賞与引当金	401	419
その他	1,635	1,711
流動負債合計	12,821	16,550
固定負債		
長期借入金	5,337	4,345
退職給付に係る負債	3,066	3,110
環境対策引当金	4	4
その他	393	381
固定負債合計	8,801	7,841
負債合計	21,622	24,391
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,443	8,443
利益剰余金	11,523	12,798
自己株式	△23	△59
株主資本合計	19,943	21,182
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	44	18
繰延ヘッジ損益	9	30
為替換算調整勘定	500	1,047
退職給付に係る調整累計額	△291	△264
その他の包括利益累計額合計	263	832
非支配株主持分	95	122
純資産合計	20,301	22,138
負債純資産合計	41,924	46,530

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	16,110	25,205
売上原価	12,242	20,142
売上総利益	3,868	5,062
販売費及び一般管理費	2,351	2,435
営業利益	1,516	2,626
営業外収益		
受取配当金	24	27
受取地代家賃	16	13
持分法による投資利益	114	191
その他	60	66
営業外収益合計	215	299
営業外費用		
支払利息	70	93
休止鉱山鉱害対策費用	71	56
その他	41	26
営業外費用合計	183	176
経常利益	1,549	2,750
特別利益		
投資有価証券売却益	-	2
特別利益合計	-	2
特別損失		
災害による損失	-	32
特別損失合計	-	32
税金等調整前四半期純利益	1,549	2,720
法人税、住民税及び事業税	428	745
法人税等調整額	36	125
法人税等合計	464	871
四半期純利益	1,084	1,849
非支配株主に帰属する四半期純利益	7	18
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,076	1,831

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	1,084	1,849
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10	△26
繰延ヘッジ損益	—	20
為替換算調整勘定	215	445
退職給付に係る調整額	26	27
持分法適用会社に対する持分相当額	29	113
その他の包括利益合計	261	580
四半期包括利益	1,345	2,430
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,332	2,400
非支配株主に係る四半期包括利益	13	29

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,549	2,720
減価償却費	756	915
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	30	83
受取利息及び受取配当金	△24	△27
持分法による投資損益(△は益)	△114	△191
支払利息	70	93
売上債権の増減額(△は増加)	△160	△2,115
棚卸資産の増減額(△は増加)	235	△1,717
その他の資産の増減額(△は増加)	△15	△123
仕入債務の増減額(△は減少)	146	827
その他の負債の増減額(△は減少)	205	116
その他	71	△24
小計	2,752	556
利息及び配当金の受取額	24	132
利息の支払額	△71	△94
法人税等の支払額	△452	△661
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,253	△68
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,129	△789
その他	△14	△25
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,143	△815
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	288	3,155
長期借入れによる収入	691	-
長期借入金の返済による支出	△1,376	△1,910
配当金の支払額	△353	△551
その他	△19	△72
財務活動によるキャッシュ・フロー	△770	620
現金及び現金同等物に係る換算差額	77	193
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	417	△69
現金及び現金同等物の期首残高	3,407	3,538
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,824	3,469

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	化成品 事業	機械 事業	電子材料 事業	計				
売上高								
顧客との契約から生じる 収益	11,901	2,672	929	15,503	607	16,110	—	16,110
外部顧客への売上高	11,901	2,672	929	15,503	607	16,110	—	16,110
セグメント間の内部売上 高又は振替高	4	—	—	4	17	21	△21	—
計	11,906	2,672	929	15,508	624	16,132	△21	16,110
セグメント利益	1,329	223	115	1,668	372	2,040	△523	1,516

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油精製用触媒再生及び不動産の賃貸等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△523百万円には、各報告セグメントに配賦していない全社費用△524百万円などが含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 顧客との契約から生じる収益以外の収益の額については重要性がないことから、顧客との契約から生じる収益と区分して表示していません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	化成品 事業	機械 事業	電子材料 事業	計				
売上高								
顧客との契約から生じる 収益	21,410	2,260	905	24,576	628	25,205	—	25,205
外部顧客への売上高	21,410	2,260	905	24,576	628	25,205	—	25,205
セグメント間の内部売上 高又は振替高	8	—	—	8	17	25	△25	—
計	21,418	2,260	905	24,585	645	25,230	△25	25,205
セグメント利益	2,412	192	249	2,854	350	3,204	△578	2,626

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油精製用触媒再生及び不動産の賃貸等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△578百万円には、各報告セグメントに配賦していない全社費用△579百万円などが含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 顧客との契約から生じる収益以外の収益の額については重要性がないことから、顧客との契約から生じる収益と区分して表示しておりません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。